

ほんじつ
本日のおすすめの**本** (64)



ブックマ

令和3年11月11日
横浜市立本牧南小学校
学校司書 青木美佳



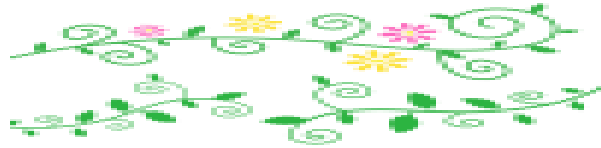
『**みどりのゆび**』



モーリス・ドリュオン作 岩波書店 2009年(9類)



はい ほん
あたらしく**入った本**です！



裕福な家庭に育ったチトという少年。お父さんは、戦争のための武器を作る会社の社長さんです。だれもがうらやむような家庭に育つチトは、なぜか学校になじめません。

自分の家で庭師としてはたらくムスターシュおじさんに会います。ムスターシュおじさんは、チトが「みどりのゆび」をもっていることに気がつきます。

見た目は普通の子どもの手ですが、チトがさわった場所には、美しい木々や花々が広がっていくのです。

チトが住むミルポワのまちは、武器の製造で人々の生活がうるおっていました。

でも、チトという少年を通して、まちが変わっていきます。そして、ついに、チトは、長引く戦争を止めることに成功するのです。

さて、チトの正体は本当はだれなのでしょう？

小さな子どもが、美しい心と自分をもつ力を駆使して、「平和」な世界を実現します。その感動的な物語の展開を楽しみながら、ぜひ読んでみましょう。

たくさんのSDGsにもつながる考え方が読み取れます。おはなしの内容は、ハラハラドキドキ。とても楽しく読むことができます。この読書週間の時期にぜひ手にしてみましょう。

今回、美しい装丁のハードカバーで新刊図書コーナーにおいてあります。

